

2026年6月

【1分解説】ドーマー条件とは？

経済調査部 シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

ドーマー条件とは、政府債務残高の GDP 比が安定するかどうかを、名目 GDP 成長率と国債金利の関係から考える枠組みです。財政の持続可能性を見るうえでは、まず、利払いを除いた政策経費を税収などでどれだけ賄えているかを示す基礎的財政収支（プライマリーバランス）が重要です。毎年の赤字が大きければ、債務残高は増え続けます。

ただし、財政の安定性はプライマリーバランスだけで決まるわけではなく、「名目 GDP 成長率」と「国債金利」の関係にも注目する必要があります。名目 GDP 成長率が国債金利を上回っていれば、経済規模が利払い負担より速く拡大するため、債務残高の GDP 比は安定しやすくなります。反対に、金利が成長率を上回る状態が続けば、利払い費が膨らみ、債務比率は悪化しやすくなります。これがドーマー条件の基本的な考え方です。

日本でドーマー条件が注目されるのは、政府債務残高が大きく、金利変動が財政に与える影響が大きいためです。インフレや賃上げによって名目 GDP が増えれば債務比率は抑えられますが、それ以上に金利が上昇すれば、利払い費の増加が重荷になります。

つまり、財政の持続可能性は「毎年の赤字をどれだけ抑えられるか」と、「名目成長率が金利を上回れるか」の両面で見する必要があります。ドーマー条件は、財政の余力とリスクを判断するための重要な物差しの一つといえます。